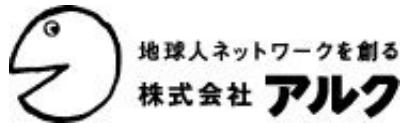


報道関係各位

2010年5月6日 新刊プレスリリース



地球人ネットワークを創る
株式会社 アルク

チャート式 徹底検証！持続する企業へのガバナンス

新刊『会社力』

この一冊で、経営者として必要な「コーポレートガバナンス」を学ぶ

株式会社アルク(東京都杉並区永福 代表:平本 照磨、以下アルク)より、新刊『会社力』のご案内を申し上げます。

経営幹部の方、経営幹部を目指す方、内部統制実務担当の方、
内部統制に関し社内の理解を求めたい方… 日本企業を支えるあなたに読んでいただきたい書



【本体】2,800円(税込2,940円)
【ISBN】978-4-7574-1876-9
【サイズ】A5判 466ページ
【発売日】2010年4月30日

グローバル人材を養成するアルク×ビジネス・ブレークスルー

語学のアルクと、ビジネスリーダーの育成を目指すビジネス・ブレークスルーが手を組んだコラボレーション・ビジネス書。世界で活躍できるグローバルビジネス人材の養成を目指します。

1990年代のバブル崩壊と相次ぐ企業不祥事から、日本の経営に対し、内外において過度な不信が生じました。そこで日本企業は体质強化のために、米国型のコーポレートガバナンスを規範としてきました。本書はその「コーポレートガバナンス」を中心に据え、いかに日本企業が会社力を高め、ビジネスパーソンたちが世界に通用するビジネス力を身に付けるか、を説きます。

「コーポレートガバナンス」の目的は、「企業を効率的に運営し、健全で持続的な発展を確保すること」、そのうえで、「競争力のある企業体质を身に付け、株主や利害関係者、そして、社会に信頼される企業体制を確立すること」。

この目的を達成するために、グローバル企業である日本IBMでコーポレートガバナンスの実務に携わった著者が、会社の仕組みや会社法の要点、さらに、不祥事を未然に防ぐためのシステムの構築方法を解説。また、会社力を評価するための具体的な指標で、「会社」、そして、「自分」を客観的に評価し検証することができます。企業も人もグローバルに活動することが求められているこの時代、ご一読をお勧めします。

【講義内容】

第Ⅰ章:コーポレートガバナンスの推移／第Ⅱ章:会社の仕組み／第Ⅲ章:会社法の要点／第Ⅳ章:内部統制システムの概要／第Ⅴ章:ITガバナンス／第Ⅵ章:耐監査性のある業務プロセス／第Ⅶ章:内部統制とリスクマネジメント／第Ⅷ章:会社力の評価／第Ⅸ章:内部統制システム構築の実施要領／第Ⅹ章:財務指標から見る会社力／第Ⅺ章:会社経営の人的側面／第Ⅻ章:グローバル化への企業革新と基盤整備

【著者】矢作憲一(やはぎのりかず) プロフィール

1942年横浜市生まれ。早稲田大学理工学部卒業後、66年日本IBM株式会社入社。IBM本社等海外IBMに駐在後、83年発表のPC/5550事業推進を担当。80年後半はアジア・パシフィック製造装置産業Director等を歴任しCIMを推進。94年に経営企画等を担当した後、新規事業(NII)を創設、理事に就任。99年に常勤監査役に就任し、2002年日本監査役協会常任理事。2006年4月よりビジネス・ブレークスルー大学大学院教授に就任。現在、上場企業数社の社外監査役及び顧問として実務面から、内部統制をはじめとしたコーポレートガバナンスを支援している。

見本書のご請求、本リリースへのお問合せは下記までご連絡ください。

株式会社アルク 広報部 (担当:河合、池田)

電話:03-3323-3521 FAX:03-3327-3971 e-mail: menet@alc.co.jp